



羽幌小学校で 環境アンケート 「特集」 親子で考えよう！環境問題

昨年7月羽幌小学校PTA広報誌「ハポロベツ」で環境問題の特集が組まれました。羽幌小学校在校生親子への環境意識アンケートを行ない、それをまとめたものです。

「特集、親子で考えよう！環境問題」と題して、特集のはじまりには「……突然ですが、「環境問題」と聞いて、何を想像するでしょうか？地球温暖化、オゾン層破壊、砂漠化など。

今回の特集は、そんな難しい話ではないのです。「環境」、つまり私たちの周りにある物事について、「子どもたちと一緒に知り、考えてみませんか？」という身近なお話です。こんなふうには始まっていきます。

質問は6問で、Q1「羽幌町はきれいな街だと思えますか？」との質問には、きれいだと思えたのは41%、いいえと答えた人が52%でした。いいえの理由には、道端にゴミがたくさん投げ捨ててあり、街の印象が悪い、などたくさんあります。

Q2「ゴミのポイ捨てをしたことがありますか？」では、ポイ捨てしたことがある人は33%いました。

Q3「ゴミをポイ捨てした人を見たことがありますか？」では、62%が見たと回答しました。

Q4「家庭でゴミに関するマナーについて話し合ったことはありますか？」では、54%があると答えました。

「ゴミのポイ捨てをする人は悪い人。自分の家にゴミを捨てられたらイヤだね」と話し合ったそうです。

Q5「家庭でのゴミの分別は、きちんとできていますか？」では、完璧が34%、まあまあが65%、あまりが1%でした。

Q6「ゴミを減らすために工夫していることはありますか？」では、はいが44%、いいえ52%、無回答が4%でした。工夫の中身は、飲み物は水筒に入れて持ち歩く。まだ使える物はリサイクルへ。スーパーのレジ袋はもらわない。生ゴミはコンポストへ、など皆さんそれぞれ工夫をしているようです。

特集の終わりには、こんな言葉がありました。羽幌の海もよく見ると汚いゴミだらけの姿もあるのが現実です。

このままでは、羽幌産の「甘エビ」は、「魚たちは」と不安になります。しかし、その危機を乗り越えようと、きれいな海を取り戻すための活動をしている人たちもいます。

「私たちの街のこと、すぐそばにある環境のことをこれからも考えてみませんか？」と結ばれていました。

環境を良くする運動を、町民の皆さんと一緒に、「自分の出来るところから、出来る時からすこしづつ始めて行きたい」と思っています。あなたも今からでも一人からでも出来ます。ちよつとだけ自分のまわりの環境に目を向けてみませんか。それが未来の子どもたちへ、素敵な環境を残して行けるカギだと思います。

環境計画町民会議へのご意見をお待ちしています。

プリンせっけんづくりやリサイクル・キャンドル、環境に関することなど知りたい方は、5人以上のグループであれば「出前講座」でどこへでもお伺いします。事務局までお問合せください。

▶事務局/農林水産課自然環境係へご連絡ください ☎ 2-1211(内線 347)
E-メール nousui@town.haboro.hokkaido.jp